

愛西市を守り抜く対策

質問

市は防災・防犯に総合的な観点で、取り組んでいるか。日光川の危険を市単独で国・県に訴えているか。防災の観点で、危険な水路を市はどう考えているか。

経済建設部長

毎年愛知県に要望している。国土交通省にも、地元県会議員を通じて早期完成に向けて要望している。津島市と情報を共有し、対策を検討していく。

危険な水路について、単独でボックス化は費用が大変か

かる。土地改良区に有利な補助事業を利用すべきと提案したが、理事長以下、事務局と調整が取れなかったのは事実だ。

質問

防災に対する意識高揚であるが、特に大切なのは、自主防災会のリーダーの意識高揚だ。防災への地域間の温度差を考え、何らかの方法で、リーダー育成のための機会を設けては。

総務部長

自主防災会のリーダーに



大野 則男 議員

は、重要な役割を担ってもらっている。一人ひとりが防災意識を持つことが重要だ。年一回の防災講演会に積極的に参加依頼をしていきたい。一度総代会で意見を聞く。

質問

市全体を考えて、順次災害特区を設定し、予算を集中して使う形は考えられないか。

総務部長

市独自の特区を設ける考えは持っていない。特区という縛りの中で、一律、画一的にやるということは無理だ。

質問

頑張って農業をしている団体に積極的に外向き情報を収集して、新しい画期的な行動をしていく考えは。

また、農業振興計画を作るべきだが。

経済建設部長

農業が抱える問題として、高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題がある。

人・農地プランを作成し、

経済建設部長

特化した企業を、地産地消農業の関連で誘致することは、市としても農家にとっても有意義と考える。具体的にあれば、立地に向かって進めていきたい。

